



特集

絵本を読む。

～ No picture book, no life ～

最初の絵本は、両親が読んでくれた記憶がある方が多いのではないのでしょうか。子育て支援センターを利用されている、子育て真っ最中のお母さんに親目線での絵本についてお話を伺いました。

INTERVIEW

◎宮迫さん親子
 (母)宮迫沙織さん
 (長女)宮迫馨代さん
 (次女)宮迫露未さん

Q お子さんたちと絵本を読む魅力は？

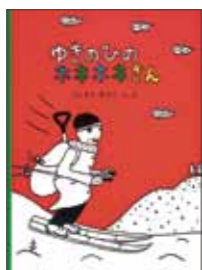
とても良いコミュニケーションになっていると思っています。子どもが今、好きなものや、興味があるものを知ることができ、絵本を通して新しくどんどん好きなものが増えていっています。そういうのも一緒に読んでいろいろと分かっても楽しいです。

Q お子さんの反応は？

好きな絵本は何度も「読んで！」と言ってきて、少し大変ですが嬉しです。

Q お子さんが今、興味がある絵本は？

『ゆきのひのホネホネさん』です。雪の中、ホネホネさんが皆に郵便をお届けするクリスマス絵本です。寝る前に読んでいます。



『ゆきのひのホネホネさん』
 作/にしむらあつこ
 ホネホネさんは郵便屋さん。雪の日にスキーをはき、皆へ郵便を配ります。

Q 大人になって読む絵本はいかがでしょうか？

やっぱり子どもの頃読んだ絵本

Q 絵本の好きなところは？

と印象は違います。親目線で読むと、絵本の内容に私が感極まったり…。今読むと「こういうことだったのか」と分かって楽しいです。そういう本は、自分で楽しむ本として読んだりします。絵本は内容がストレートになるものが多いので、心に響きますね。

絵本は、絵と少ない文章だけでもその世界を楽しめることがすごく好きです。そして、自分が昔好きだった絵本を、自分の子どもたち読んであげられるのがとても嬉しかったりします。

心の栄養を満たす読書

もうすぐ始まる新年度、進学や就職など、さまざまな新しいことへの始まりや出会いに胸を躍らせ、緊張している方もいらっしゃるかと思えます。

心を豊かに、そして穏やかにしてくれる一つの方法として、読書もあるのではないでしょうか。

3月27日から4月9日までの2週間は、より優れた絵本文化の発展と、教育の場や家庭にいつでも絵本読書が定着するようお願いを込めて、『絵本週間』となっています。

今回の特集では、全世代が読むこと、楽しむことができる『絵本』の魅力や、絵本に魅了された方々へのインタビューや、読み聞かせボランティアの紹介、垂水市立図書館スタッフが選ぶオススメ絵本の紹介等を通してお伝えします。

あなたの生活に、絵本で、心優しい彩りを加えてみませんか？



絵本といくらが
 だいすき！

小さい頃好きだった
 絵本は「くりとぐら」

宮迫さん親子のとある1日

16時	13時半	13時	9時
図書館で一緒に読む絵本選び	親子3人で子育て支援センターへ	保育園へ馨代さんをお迎え	馨代さんを保育園へお見送り

▼子育て支援センターって？
 子どもに遊びの場を提供し、保護者に学びの場を作ります。季節のイベント等も行われ、親子で楽しく利用できます。

▲詳しくは垂水市HPへ

▶ 節分イベント